

2017年 MEMS 国際会議 事後報告書

はじめに

2017年1月22日から28日にかけて、アメリカ合衆国ネバダ州ラスベガスにおいて行われた2017年MEMS国際会議(The 30th IEEE International Conference on Micro Electro Mechanical Systems)について報告する。報告者は、初日に自身のポスター発表を行い、それ以外の時間では他の研究者の発表を聞き、交流を行った。本報告では、会議の概要と報告者の発表に関して記述する。

会議概要

MEMS国際会議は、毎年年初に開催されているIEEE(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)が主催する国際学会である。会議では、マイクロ加工技術を基板とし、それと生物学・化学・物理学といった幅広い分野の学問との融合により生まれるデバイスやシステムに関する最新の研究成果の発表と議論を全世界から参加者が集まり行う。採択率は口頭発表・ポスター発表合わせて約30%であり、この分野において世界で最も権威のある国際学会として位置づけられている。今年度は、22日にレセプションが行われ、23日の朝から26日の午前中にかけては、招待研究者による講演と、応募者のうち上位8%の参加者による口頭発表、上位30%までの参加者によるポスター発表が交互に行われた。また、25日の夜にはバンケットがあり、世界中から集まった研究者たちとの交流を行うことができる機会となった。

研究発表

報告者は、「アルギン酸ファイバーを用いた培地灌流可能な血管様流路構築技術の開発」について研究を行っており、本会議では、「FORMATION OF VESSEL-LIKE CHANNEL USING ALGINATE FIBER AS A SACRIFICIAL STRUCTURE」というタイトルでポスター発表を行った。2時間に渡る発表の中では、アジア・ヨーロッパ・アメリカ等を含む多くの国々から集まった研究者らと、研究説明および質疑応答による活発な議論および交流を行うことができた。議論を通して、自身の研究の改善点や更なる応用の可能性について考えることができ、本会議への参加は大変意義のある時間となった。

おわりに

本会議では、自身の研究を深め、海外の研究者らの研究を広く知り、また研究者らと交流することができ、報告者にとって素晴らしい機会となった。このような機会をサポートしていただいた本海外渡航助成プログラムおよび関係者の方々に心からの感謝の意を表し本報告書の括りとする。



図 1. MEMS2017 国際会議フライヤーロゴ

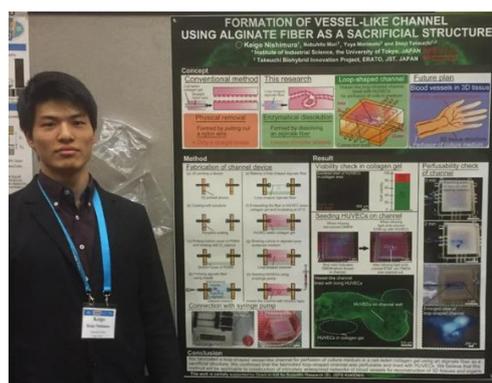


図 2. 報告者と発表ポスター